

府職労が街頭で労働者派遣法改正の署名行動



## 新しい国会で

# いまずぐ改正しよう! 労働者派遣法

### 大阪自治労連が各地で署名、宣伝行動

構造改革がもたらした冷酷、非情な「派遣切り」や雇用破壊に国民の怒りが広がり、新しい政権が誕生しました。新しい国会では、「働くルール」を確立するために製造業への派遣禁止など労働者派遣法の抜本改正をさせましょう。大阪自治労連は国会請願署名を組合員ひとり5筆以上集めることを提起しています。

## 大阪府議会 府庁のWTC移転よりも 府民のくらし、福祉の充実を



いま大阪府議会が開かれています。橋下知事は府民施策を切り捨て、一方で、2月府議会で否決された府庁のWTCへの移転をまたもや提案。破綻したベイエリア開発をすすめるために、無理矢理押し通そうとしています。国の政治がかわったいま、大阪府に「ムダな開発をやめ、府民のくらし福祉、教育を守れ!」の声をあげていきましよう。

熱い期待を受けて、青年部大会を開催（9月14日）  
壇上であいさつする青年部長の高田拓人さん



## 守口市職労青年部が10年ぶりに復活

元気がわいたクリスマスパーティー（昨年12月）



クリスマスパーティーが  
きっかけに

守口市では1990年代に職員の採用が凍結され、市職労青年部は1999年を最後に役員を選ばなくなっていました。2004年に職員の採用が再開されて、組合に迎え入れましたが、レクリエーションの企画は思うように進みませんでした。「企画は組合が決めたもので、青年

自身のものになっていなかった」と組合役員は気がつきました。昨年11月、こんどは青年だけで実行委員会を開催。みんなで話し合い「クリスマスパーティーをやろう」と決めました。青年への声かけは実行委員みんなで分担し、当日は50人を超える参加者で楽しみました。「こんなにたくさんの方と交流できて楽しかった」「自分たちで、こんなすごいことができるんや!」と確信が広がりました。

### 学習会に参加して

#### 「青年部が必要」の声が

今年4月に新入職員歓迎実行委員会を結成して「ボウリング&交流会」を開催。組合役員は参加した青年に「青年部を復活させたい。ぜひ協力してほしい」と言い続けてきました。しかし、みんなの思いにはならず一部の人の動きになりかけていました。そこで市職労は青年全員を対象にした「学習交流集会」を5月に開いて、市職員の賃金・権利が労働組合の闘いでどのように改

### 「青年の声を届けたい」と 14人の新役員でスタート

6月には役員選挙を実施して14人の新役員が信任されました。9月14日には10年ぶりに青年部大会を開催。労働条件の改善とともに、学習・教育や文化・スポーツ活動もすすめるながら、仲間のつながりを広げ、組織を強化する方針を満場一致で採択しました。青年部長の高田拓人さん（30歳）は「いままでも青年の声が届いていなかったこともあったと思うけれど、復活した青年部で、みんなの手助けをして声を届けたい。楽しい企画もしていきたいです」と抱負を語ります。結成後は、さっそく10月に「バスツアー」を企画。12月に開催する2回目のクリスマスパーティーの実行委員会もスタートしています。

# 自分たちで、こんなすごいことが できるんや!